

家畜衛生情報

家畜伝染病予防法の中には、踏込消毒槽に使用する「消毒薬の種類」が規定されています(下表)。

家畜伝染病の種類	消毒薬の種類
牛疫、流行性脳炎、狂犬病、水泡性口内炎、リフトバレー熱、馬伝染性貧血、小反芻獣疫、 <u>豚熱</u> 、 <u>アフリカ豚熱</u> 、 <u>高病原性鳥インフルエンザ</u> 、 <u>ニューカッスル病</u> 、 <u>口蹄疫</u> 、アフリカ馬疫、豚水泡疫	次に掲げるいずれかの消毒薬(消石灰、パステンなど) <u>1 消石灰液(10%)</u> 2 両性界面活性剤(ポリアルキルポリアミノエチルグリシンを成分とするもの) <u>※炭酸ソーダは口蹄疫にしか効果がありません</u>
出血性敗血症、ブルセラ症、ヨーネ病、鼻疽、家禽コレラ、家禽サルモネラ症	次に掲げるいずれかの消毒薬(消石灰、パステン、クリアキルなど) <u>1 消石灰液(10%)</u> 2 両性界面活性剤(ポリアルキルポリアミノエチルグリシンを成分とするもの) 3 逆性石けん(塩化ジデシルジメチルアンモニウムを成分とするもの)
炭疽	次に掲げるいずれかの消毒薬(アンテックビルコンSなど) 1 ハロゲン化合物(次亜鉛素酸ナトリウムを成分とするもの)
結核	次に掲げるいずれかの消毒薬(消石灰、パステンなど) <u>1 消石灰液(10%)</u> 2 両性界面活性剤(ポリアルキルポリアミノエチルグリシンを成分とするもの)
牛肺疫、アナプラズマ症	次に掲げるいずれかの消毒薬(消石灰、パステン、クリアキルなど) <u>1 消石灰液(10%)</u> 2 両性界面活性剤(ポリアルキルポリアミノエチルグリシンを成分とするもの) 3 逆性石けん(塩化ジデシルジメチルアンモニウムを成分とするもの)

ここには、疾病名が列記されていて、その右側には各疾病に有効な消毒薬の成分が記載されていますが、農場へはいつどのような病原体が侵入してくるか分かりません。各病原体に有効なそれぞれの消毒薬があるのですが、実際に農場で使用する消毒薬は、口蹄疫以外にも効果があるものが良いと考えます。

表を見ると、ほとんどの病原体に有効なのは消石灰液(10%)と両性界面活性剤となっています。よく使用されている「逆性石けん」は「有機物が混入すると効果が落ちる」ため、少なくとも毎日、使用頻度によっては、一日に何回も交換しなくてはなりませんので、すぐ手間がかかります。また、気温が低い冬季などは効果が低くなります。一方、「消石灰」は一部を除き多くの病原体に有効であり、有機物が混入しても効果が変わらないので、週一の交換でOKです。また、農場出入口へ散布する「消石灰帯」に使う消石灰と全く同じなので、「消石灰帯」と「踏込消毒槽」を同時に作ることが可能です。
(両性界面活性剤は一般的でないので割愛します)

消石灰による踏込消毒槽の作り方

作り方は、水10リットルに対し、消石灰100g(紙コップ1杯分)入れるだけです。消石灰は水にほとんど溶けませんので、分量はともかく、白く濁っていればOKです。

消石灰が目に入らないように
注意してください。

